

講義名	卒業研究				
講義コード	44403	授業形態		開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
担当教員	藤原 喜美子			サンパリング・コード	

学部・学科	演習分野
全学部（商学部・経済学部・人間社会学部）	藤原喜美子ゼミナール（日本文化論）

概要説明
この研究演習の目的は、日本の民俗（生活文化）から日本の文化の本質ともいべきものを考えることにあります。日本の文化は、文字に記されている史料以外に、文字に記されていない民俗資料からも明らかにすることが出来ます。家や地域に伝わる言い伝え（伝承）や習慣などが、この学問の大事な情報源になります。 私たちの日常生活は、地域ごとにそれぞれの特色が見られます。 例えば、住居・衣服・食事・生業（農業・漁業・林業など）・村構成（子供会・青年団など）・人生儀礼（誕生・婚姻・葬送など）・年中行事（正月・節分・節供・七夕・お盆・月見など）・神祭・伝説・昔話・命名・民間信仰が研究のテーマになります。 また、地域の特色を知るために、文献だけではなく、フィールドワーク（聞き取り調査）による資料収集が必要となります。 そこで、研究演習では、日常生活で伝承されてきた各地域の情報（民俗）を収集・整理する方法を学びます。そして、得られた文化の特色を考察し、日本の文化の中に位置付けたいと思います。地域の情報（民俗）は多種多様であるため、それらの資料をいかに整理していくかが問題です。そのために、口頭発表とその質疑応答を通じ、日本の生活文化史（民俗学）を検討する方法について、ともに学んでいきたいと思います。 「卒業研究」では、日本の日常生活や歴史の中から、卒業論文のテーマを各自で探してもらいます。そして、各自が決めたテーマをもとに口頭発表や質疑応答を行い、卒業論文の完成に向けて、ゼミの皆さんとともに進めていきます。

主な卒業論文のタイトル
〔2024年度卒業論文〕 ・年中行事と食事のつながり ・日常に潜む阿波踊り ―私が見る阿波踊りの魅力― ・兵庫運河を繋ぐ ・日本の食とお米の歴史 ・井伊直政と彦根城 ・奇跡の鶴姫伝説 ・本能寺の愛の真実 ・姫路城の歴史と特徴 ・犬と人間の歴史 ・化粧の歴史と化粧地蔵 ・山口県の歴史と魅力 ・淡路島と二神 〔2023年度卒業論文〕 ・石鏡山と山岳信仰について ―登山と修行の違いとは― ・明治文明開化と現代 ・私の故郷（兵庫県神崎郡福崎町）の秋祭りについて ・故郷岡山県真庭市の祭り文化 ・岡山県備前市の魅力について

教員よりの要望
・積極的な姿勢で取り組むこと。現地見学（フィールドワーク）などを行うことがありますので、その時は参加してください。 ・日常生活（民俗）に対して、大いに興味を持ってくれることを期待します。日常生活には、日本の文化を語る多くの資料が満ちあふれています。身近な事柄に対して、何事にも強い関心や疑問を持ってください。

選考方法
研究演習（日本文化論）を履修した学生に、引き続き、履修していただくことができます。

評価方法	
・出席を重視します。原則として毎時間、出席調査を実施します。欠席や遅刻状況も評価の中に含みます。 ・レポートや研究発表の内容は当然ですが、研究演習に取り組む姿勢、発表者に対する質問（討論への参加度）など勘案して、評価を行います。	
教員英字氏名	研究室
Fujiwara Kiniko	研究棟 2711
最終学歴	
神戸女子大学大学院文学研究科日本史学専攻 博士後期課程単位取得満期退学	
学位	
修士（日本史学）	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
〔社会活動〕大阪狭山市文化財保護審議会委員(民俗)、播磨町文化財審議委員(民俗)	
〔研究業績〕 ○著書『オニを迎え祭る人びと―民俗芸能とムラ―』（御影史学研究会民俗学叢書17、岩田書院、2006年10月刊） ○著書『川を守る人びと ―治水・河童・相撲―』（流通科学大学民俗学研究会・岩田書院、2024年3月刊） ○論文『五條市内近町の高野参りと六斎念仏』（『考古学論攷』第30冊、奈良県立橿原考古学研究所、2007年3月刊） ○論文『八正寺と豊会式―「鬼のお面箱取り」をめぐって―』（『久里』20号、神戸女子民俗学会、2007年4月刊） ○論文『蓮花寺の「山の神の鬼面」のもつ意味』（『山岳修験』第43号、日本山岳修験学会、2009年3月刊） ○論文『竹崎島の修正会鬼祭―満潮に二匹の鬼が呼びあうこと―』（『御影史学論集』第34号、御影史学研究会、2009年10月刊） ○論文『愛知県国府宮の夜廻追神事』（『流通科学大学教養センター紀要』第1号、流通科学大学教養センター、2011年5月刊） ○論文『兵庫県加東市の朝光寺の鬼踊り―修正会の祈りから八十八夜の祭りへ―』（『久里』29・30合併号、神戸女子民俗学会、2012年6月刊） ○論文『修正会と鬼―播磨の八葉寺の修正会と『中右記』『兵範記』をめぐって―』（鶴崎裕雄編『地域文化の歴史を往く―古代・中世から近世へ―』和泉書院、2102年8月刊） ○論文『兵庫県加西市住吉神社に伝わる鶴合せの神事』（『久里』32号、神戸女子民俗学会、2013年6月刊） ○論文『播磨の鶴林寺の修正会と鬼追い―謡曲『吉道』との関わり―』（『御影史学論集』38号、御影史学研究会、2013年10月刊） ○論文『香椎宮の鶏石神社と神功皇后と湊』（『久里』33号、神戸女子民俗学会、2014年1月刊） ○論文『神社の祭りにおける相撲と子ども―神の相撲に関わる子どもの存在―』（『日本文化論と民俗学』創刊号、流通科学大学人間社会学部藤原研究室、2017年8月刊） ○論文『相撲節会のお手と童相撲』（『御影史学論集』42号、御影史学研究会、2017年10月刊） ○論文『香川県の田井の子供神相撲と神相撲に連はれる子ども』（『日本文化論と民俗学』2号、流通科学大学人間社会学部藤原研究室、2019年3月刊）	
趣味・特技	
各地域へ出かけていき、歴史や文化にかかわる色々なものを見て、新たな発見をすることが楽しみです。	
所属	
人間社会学部観光学科	
所属学会	
御影史学研究会、神戸女子民俗学会、日本民俗学会、日本山岳修験学会、藝能史研究会、まつり同好会、文化人類学会	
専門分野	
日本民俗学	
担当科目	
日本文化論、地誌学、日本史A、日本史B、神戸の景観と歴史、教養特講（地理・歴史へのいざない）、教養特講（観光学へのいざない）、教養特講（読書力）、教養特講（世界の中の日本）、基礎知識（歴史）、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究	
備考	
研究演習の選択は、自分の進む道（生き方）を大きく変えます。 私自身は大学生の時、「日本民俗学（生活文化史）」に偶然、出会いました。民俗学では、普段私たちが「当たり前」だと思っている日常生活のすべてが、研究対象になりました。そのことに大変驚き、親しみを覚え、私は民俗学のゼミを選択しました。 ゼミの時間、「自分の好きなテーマを見つけることができたら、一生楽しめる」と恩師はおっしゃいました。そして、ゼミを通して、研究の楽しさや喜びを次々と教えてくださいました。こうした中で、私の選んだテーマが「兵庫県の鬼の祭り」です。これは自分の住む地域に継承されてきた寺院の行事でした。研究テーマは、私のすぐ足もとに眠っていました。 人生はまさに「出会い」です。研究演習では、学生の皆さんも「一生楽しめるテーマ」を見つけられることができるよう、私はお手伝いをします。皆さんは努力をして	
実務経験の有無及び活用	
実務経験あり。地域の民俗（生活文化史）に関わる現地調査等の機会をいただいています。そこで学んだ現地調査等の経験をもとに、研究演習の取り組み（調査報告書や卒業論文の作成）の中で、現地調査の説明内容として活用させていただいています。	